



## 時計はどうして右回りなの

### 日時計は北半球では右回り

昔は、太陽の動きをもとにした日時計、水てきや砂の落ちる速さで知る、水時計や砂時計などが、使われていました。

特に日時計は、太陽の動きとともに、かげの位置が変わることを、利用したもので、たいへん便利なものです。日時計は、地面に棒を立てて、棒のかげのさしたところで、時間を読みます。

日本は北半球にあるので、日本で日時計を作ると、棒のかげは、右回りに動きます。オーストラリアなどの南半球では、日時計のかげは、右回りではなく、左回りに動きます。

### 機械で動く時計は、北半球で発明された

1583年、イタリアのガリレイは、ふり子のゆれる時間は、おもりの重さや、ふれはばに関係なく、ふり子の長さだけで決まる、ということを見つめました。

17世紀の半ば、オランダのホイヘンスは、ふり子の原理を利用して、ふり子時計を発明しました。ふり子のゆれを、歯車で伝える原理は、現在のふり子時計も同じです。

日時計は、北半球で発明されました。また、機械で動く時計も、北半球で発明されました。機械で動く時計は、日時計が右回りに動くことを、参考にして作ったので、時計は右回りになりました。もし、日時計や機械で動く時計が、南半球で発明されていたとしたら、時計は左回りに、動いていたかもしれません。(監修・青木 国夫)

